

「次世代のための民間運動～ワーク・ライフ・バランス推進会議～」

事務局：(財)社会経済生産性本部

1. 設置の趣旨

少子高齢化と人口減少、グローバル化、価値観の多様化という社会経済構造が大きく変化する中、ワーク・ライフ・バランスが新しい時代への対応策の一つとして求められている。「次世代のための民間運動～ワーク・ライフ・バランス推進会議～」は、こうした現状を変革し、新しい時代の新しい生き方を広く提案・普及することを目指し、2006年8月に発足した。「ワーク・ライフ・バランス推進会議」では、「働き方」と「暮らし方」双方の改革を図り、「調和のとれた生活」の実現を図る運動を進めている。ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、社会的な啓発・普及を進めるとともに、企業における具体的な実践を支援する活動を展開している。

2. 当面の取組みのねらい

ワーク・ライフ・バランスの実現のため、とくに多くの問題が集中する「働き方の改革」に重点を置いて、社会的な啓発や企業等に対する支援を行う。

生活に関わる問題では、子育て支援がもっとも緊急的な課題となることから、これに関する各種の支援情報を総合的に提供できる体制を持つ。

地域における実践のあり方を考えるため、首都圏の数箇所の市と提携して、地域におけるワーク・ライフ・バランス普及活動への参加や共同での事業実施を行う。

ワーク・ライフ・バランスに関する議論の輪を広げるため、企業の労使をはじめ、多くの団体や組織においてテーマとして取り上げてもらう機会を増やす。

3. 推進体制

(1) 推進委員

運動を実践展開していくための中心的な体制として「推進委員会」を設置。メンバーは11名。

池田 守男 (株)資生堂 相談役	江上 節子 早稲田大学大学院 客員教授
鹿嶋 敬 実践女子大学 教授	河野真理子 (株)キャリアネットワーク代表取締役会長
加藤 裕治 自動車総連 会長	古賀 伸明 連合 事務局長
松原 亘子 (財)21世紀職業財団 会長	佐々木かをり (株)イー・ウーマン代表取締役社長
森田富治郎 第一生命保険(相) 会長 (印は、代表幹事)	清家 篤 慶應義塾大学 教授
	樋口 美雄 慶應義塾大学 教授

(2) その他

推進委員の他に、この運動の趣旨に賛同する各界の有識者(現在のところ約70名)に協力を呼びかけて運動を進めている。

4. 「ワーク・ライフ・バランス・キャンペーン 2007」の主な取組み

(1) 「ワーク・ライフ・バランスの日」(11/23)、および「ワーク・ライフ・バランス週間」(11/18～11/24)の呼びかけ

(2) 「ワーク・ライフ・バランス・コンファレンス 2007」の開催(11/19)

(3) 第1回「ワーク・ライフ・バランス大賞」の実施(組織内活動、貢献活動、標語、エッセイ部門)

(4) ホームページ「次世代ネット」(<http://www.jisedai.net/>)を通じた情報提供

(5) 地域での実践展開(仕事と子育て両立支援企業経営アドバイザー養成セミナー、自治体向けワーク・ライフ・バランス実践セミナーなどの実施)

5 . 今年の取組み

「ワーク・ライフ・バランス週間」の提唱や、第2回「ワーク・ライフ・バランス大賞」の実施など、これまでの活動を推進するとともに、新たに、企業労使への実践活動支援や社会基盤のあり方を考える研究会などを設置し、一層の活動内容の拡充を図る。